

やまぐち

●発行/山口市役所 〒753 山口市亀山町2-1 ☎0839(22)4111 ●編集/総務部広報課 ●印刷/森重印刷株



鳳翺山の秋を満喫

さわやかな秋晴れの10月20日、東西鳳翺山縦走ハイキングが行われ、山と自然を愛する市民200人が参加しました。子供から80歳までの参加者は、山頂を目指して元気に登りました。遠くは国東半島まで見渡せるすばらしい眺めに、しばし我を忘れ自然を満喫。

吉敷畑(登山口)→40分→油ノ峠→30分→西鳳翺山→80分→地蔵峠→40分→東鳳翺山→50分→天花畑

●市民憲章 昭和46年9月1日制定

1. 自然を大切に、美しい環境を守りましょう。
1. スポーツに親しみ、健康なからだをつくりましょう。
1. 互いに助け合い、生活を豊かにしましょう。
1. きまりを尊び、良い風習を育てましょう。
1. 郷土を知り、文化財の愛護につとめましょう。

再生紙(古紙混入率80%)利用の市報です

市の木
イチヨウ市の花
キク市の花木
キンモクセイ



「つくし推進事業」に取り組み、子ども会の活動資金にしている東糸米子ども会。今回はサビエル教会復興の寄付を考えています。

子ども会、町内会など

百69団体が登録

「つくし推進事業」

市では今年の4月から排出ごみの減量化と再資源化を図るために、清掃事務所内に減量推進室を設置し、「資源回収推進事業奨励金交付制度」Ⅱ「つくし推進事業」を6月からスタートしました。リサイクル可能な古紙類、布類、あき缶類、金属類、ビン類の5種類の回収に、1キロ当りについて、3円の奨励金を、営利を目的としない市民団体に交付するものです。このほど1期（6月）分と2期（7月・9月）分がまとまりました。

再資源として 6百トを回収

「つくし推進事業」は、減量

推進室に登録が必要で現在、子ども会百11、町内会23、婦人会15、PTA18、老人クラブ2の合わせて百69団体が登

録を済ませています。

6月からの、これらの団体が再資源として回収した資源ごみは、6百18トです。主なものは、新聞・雑誌などの古紙類が約5百トで最も多く、回収された資源ごみの約80割を占めています。そのほか、瓶類59ト、金属類32トとなっており、団体に交付された奨励金は、約百85万円です。

可燃物ごみの 6割が再資源ごみ

市内から1日に出されるごみの量は、別表のとおりです。平成2年度には、1年間に6万トのごみが出され、市民1人当たり約4百80キロのごみを出したことになります。

このうち、清掃工場に持ち込まれる可燃物が約半分を占め、しかも、その6割が紙類となっています。

こうした紙類をごみとして収集、焼却するには多くの経費を必要とします。約1トの古新聞紙の処理には、およそ2万円余りの経費がかかります。

紙類を資源回収として出すと、奨励金を支払っても、収

山口市のごみの量の推移

市内から1日に出るごみの量		
昭和61年度	143トン	昭和61年度を基準にすると
昭和62年度	151トン	1.06倍
昭和63年度	159トン	1.11倍
平成元年度	167トン	1.17倍
平成2年度	166トン	1.16倍

再資源化は省エネ 環境保全

資源ごみからの再生に必要なエネルギーも、原・材料から生産する時のエネルギーに比べ大きく節約できます。

ごみの再資源化は、限りある資源を大切に使うとともに、地球の温暖化の原因の一つとなっている二酸化炭素の排出を少なくし、地球の環境保全にもつながります。

手続簡単 「つくし推進事業」

「つくし推進事業」は、ごみの減量化と再資源化を図るために、子ども会や町内会などの営利を目的としない市に登録した団体が、資源回収を行い、業者に引き取ってもらい、その領収書によって1キ

市民1人が1日に出すごみの量		
昭和61年度	1,167g	昭和61年度を基準にすると
昭和62年度	1,221g	1.05倍
昭和63年度	1,280g	1.10倍
平成元年度	1,328g	1.14倍
平成2年度	1,314g	1.13倍

ログ当たり3円の奨励金を支払うものです。

団体の登録は、代表者と交付金の振り込み先金融機関を決め、「山口市資源回収推進事業実施団体登録申請書」(市衛生課、各出張所、清掃事務所にあります)を、申請書を受けとられた所に提出されればこの制度が受けられます。

また、小さい町内などでは、隣接町内と一緒に登録申請されても構いません。

市教育委員会委員長に 大岡護一氏が選任

10月8日に開催された教育委員会(臨時会)で、10月7日で任期満了となりました佐々木賞前委員長の後任に、新しく大岡護一氏が委員長に選任されました。

大岡護一氏の新委員長の任期は来年10月4日までの1年間です。



11月のこよみ

- 2日 第20回山口市市民文化祭(市民会館3日)
- 6日 動くふるさと教室(ふるさと伝承総合センターほか)▽第16回山口市老人クラブ健康増進ゲートボール大会(山口南総合センター)
- 10日 第3回山口女子駅伝競走大会、女子第3回全国高等学校駅伝競走大会県予選会(山口循環ハーフマラソンコース)
- 11日 第1回山口市民大学講座2回目(市民会館)
- 14日 山口県同対策推進大会(市民会館)
- 15日 第9回山口県「障害者希望芸術文化展」(県社会福祉会館20日)
- 16日 第43回山口市中学校駅伝競走大会(市内コース)
- 17日 青少年社会参加活動(市内)
- 19日 動くふるさと教室(平川小学校ほか)
- 24日 おとどい山オリエンテーリングバーマネットコース開設記念市民大会(おとどい山)▽西日本車いすロードレース大会 in 山口(維新公園など)
- 25日 第1回市民大学講座3回目(市民会館)

毎日が火の元警報

昨年比11件の増

市では、今年10月21日現在で、40件の火災が発生し、3人の方の尊い命が失われ、9人の方が負傷され、損害額も1億円に昇っています。

今年発生した火災の主なものは、建物火災24件、林野火災3件、車両火災7件、その他火災（前記の区分に入らない火災）6件で、昨年の同時期29件に比べ11件も増加しています。

現在、原因を調査中の火災を除き、火災の主な原因は、たき火6件、天ぷら油（ガスコンロの取り扱いの不注意によるもの）3件、たばこの不始末3件となっています。

今から空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節を迎えます。また、11月9日の「119番の日」にちなみ、9日から15日まで、火災発生防止、

原の火災現場に通るかかり、発見と同時に隣家に火事を知らせ、バケツリレー等で消火に当たり、火を消し止め、被害を最小限に食い止めました。

初期消火協力 青木博君に感謝状

鴻南中学校3年生の青木博君は、10月1日午後8時頃失



この迅速で適切な初期消火活動があれば建物の全焼、さらには延焼など大きな被害が予想されました。山口・小郡消防組合消防本部では、初期消火協力として10月16日、青木君に感謝状を送りました。

死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的に「秋の火災予防運動」が展開されます。

市民一人ひとりが火の元に気をつけて、火災がなく安心して住めるように心掛けたいものです。

火が出た時の3原則

知らせる 消す 逃げる



地図検索装置で現場を確認する通信室

火災予防運動中の主な行事

■防火パレード 日時 11月8日（金）午後1時～1時30分

■消防防演習 日時 11月9日（日）午前9時～10時30分

場所 米屋町・道場門前商店街

場所 朝田（山都ハイツ）

消す

火事を発見してから数分間、小さな火を消せるかどうかの勝負です。

必ず自分の逃げ道を確認してから消火活動を。ただし、無理は禁物。

○水をかけてはいけないうもの天ぷらなべ、石油ストーブ、通電中の電気器具

避難

火を消すことばかりに気をとられていると煙がひどくなつて逃げ遅れることがあります。2つの方向の逃げ道を考えておきます。

消火をあきらめるのはひとつの目安として、炎が天井に達した時です。その前でも煙がひどい場合は危険ですので一刻も早い避難を。

訂正

10月1日号市報の2ページ「住宅の台所が燃えている。」見出しで人口が126、461人は129、461人に訂正します。

こんにちは市役所です ②9

職場訪問 建築課の巻

建築課は、管理係と技術係の2係9名で、市営住宅の建設や維持管理および入居の募集、建築工事の設計・監督、小集落地区改良事業に関することや、住宅行政一般にわたる業務を積極的にすすめています。

現在山口市が管理している住宅は千戸余りですが、この内、老朽化し狭い住宅は計画的に建て替えることにしています。

これまで、東山住宅・下田住宅・鯖山住宅・三和町住宅を建て替えて、来年から折本住宅を建て替える予定ですが、建て替える後は従来の市営住宅のイメージを一新し、市民の皆様方に快適で、しかも便利な住宅となるよう努力しています。

また、山口南総合センターやふるさと総合伝承センターなども手掛け、現在、多くの皆さんにご利用いただいています。



真剣に設計作業に取り組む職員

また、市内各地の学校の新設や建て替えも行っています。これは、教育委員会や地元の方々と協力しながら進めています。

めいめいですが、愛される地域のシンボルとしての施設になるよう心がけています。

今年度は、大内南小学校新設の工事に着手し、現在急ピッチですめられています。

このように、建築課の仕事は市営住宅だけでなく、市の発注する建物の設計・施工・監理などすべてを受け持ち、今後も市民の皆さんのご協力を得ながら、市民として誇れる施設になるよう、職員一同、一層の努力をしていきたいと考えています。

子供を見る目を持って

子供を見る目を親が持つていなければならない。

方法はいろいろある。成功するかというところも必ずしもそうでない。

旅人の上着を脱がせるのに「北風と太陽」という話で、北風は冷たい風を吹きかけると旅人は上着をとられまいと失敗する。太陽は日光をふり注いでやると、暑いので上着をとる。子供の教育が太陽的な方法で成功するかというところも必ずしもそうでない。

旅人の上着を脱がせるのに「北風と太陽」という話で、北風は冷たい風を吹きかけると旅人は上着をとられまいと失敗する。太陽は日光をふり注いでやると、暑いので上着をとる。子供の教育が太陽的な方法で成功するかというところも必ずしもそうでない。

大内小校長
末廣光啓

とは問題を大きくし、解決を難しくしてしまう。

連携は信頼関係から

家庭と学校との連携を考えると、日頃からお互いに包み隠さず本音で話し合いをすることが大切。何か問題が生じた時、家庭も学校も素早い対応・指導をしていくことが子供の成長のためになるのか協力して探っていくべきだと思います。

平川小校長
河村順弘

地域は

子どもで結ばれる

11月は青少年健全育成強調月間

青少年が心身共に健全に育つことは子供を持つ親だけでなく、大人にとって共通の願いです。日頃、健全育成活動に携わって感じたことや、家庭・地域での悩みを各々が持ちより「地域ぐるみ」で取り組むために、今年で5回目になる青少年健全育成関係者ブロック別研修会が、8月下旬から9月上旬に市内5ブロックで開催されました。

「身近な事例」に学ぶ——良いことは広めよう」「と

子供たちの生活の思いさまざま

- 今の小学生・中学生
- 一人一人の子供はいいものを持っているが、集団になると...
- 青少年指導員として夜巡回していると、塾帰りの中学生をよく見かける。
- 立哨当番時、小学生はよくあいさつするが中学生はしない。
- 小学生は子ども会活動に参加するが中学生は部活中心。
- で地域とのかかり合いが少なくなっている。
- ラジオ体操に小学生は集まるが低学年だけやり、高学年がリーダーシップをとらない。また、手本になる中学生の参加がない。
- 親が過剰な期待をして塾に行かせたり、学校のクラブ活動等が多く、自分の時間が少ないのではないか。
- 最近の子供の欠点として。



学校5日制の指定を受けている二島小・中学校では休日の有意義な過ごし方として、ひとり暮らし老人との交歓会で交流を深めました。

■勤労体験の少ない子供
子供の肥満児が増加している。運動不足が一つの原因ではないか。家の手伝いをしない親も少なくないという。勤労体験の少ない子供が育っている。家の手伝いを

体格はよいが体力がない。感性に乏しい。精神力が弱い。けんかの仕方がわからない。金で解決する安易な考え方をしている。物を大切にしない。思考力がない。一人で遊ぶ。...

放課後、学校に遊びに来る子供が少ない。屋外での遊びが少なく、かわりにテレビゲーム等の屋内遊びが主流になっている。

遊びをしても集団の中にリーダーがいらない。また、危険だからといって遊びに対して親が口を出し過ぎ、子供が体験することが不足している。買う遊びが多く、創る遊びが少なくなっている。

子供をよく理解して

白石小校長
水義昭

共通の理解事項として、子供との触れ合い、接点を持つことが減っている。家庭・学校・地域で子供との接点を持つ。...

者が同じなのに違う医者。次々と診るようではいけない。カルテは一枚。子供をよく知ったうえで、みんなが同じ目で子供を指導する。

■子供は一人ひとりみんな良い子。大人のことを棚に上げて子供に責任を負わせるべきでない。三つを今日から実行を。

している子供の近くを同年の子供が通りかかると、陰に隠れてしまうような片身の狭い思いをしてしまう。田植えの体験学習をさせた時、最初は嫌がっていたけれども最後までやった子供は疲れたけれど楽しかったという声が聞かれた。

夏休みには高校生から、地区の中・高校生の交流の場を設けたいとの申し出があり、大人の側面的な協力だけであとは子供たちだけでスポーツを通じた交流をすることになった。



平成3年度山口市花いっぱい運動推進大会が10月19日、山口南総合センターで開かれ、花いっぱい運動に取り組んでいる関係者約3百名が参加しました。(写真)

広めよう 深めよう 花いっぱい運動

山口南総合センターで開かれ、花いっぱい運動に取り組んでいる関係者約3百名が参加しました。(写真)

山口市の花いっぱい運動は、学校での情操教育の一環としての取り組みと、地域における子ども会を中心とした健全育成の実践活動の場として盛り上がりを見せています。

推進大会では、各公民館や学校等から推薦、応募された71花壇及び市子連の23花壇に対しての表彰、永年取り組み組まれている団体と地域で花づく

りの指導に当たられている方に感謝状の贈呈が行われました。

優秀賞には、▽名田島小学校▽陶小学校▽白石小学校▽二島幼稚園▽小鯖11区親子花壇▽大歳上矢原子ども会▽大歳高井子ども会▽平川北小路子ども会▽小鯖12区親子花壇▽宮野中央子ども会▽嘉川北ノ江西子ども会▽宮野西桜畠子ども会の12団体が、また、仁保婦人会と宮野地区の藤井信夫さんに感謝状が贈られました。

ゆとりのある子育て



長男 校哲 小松 陶村

自分で学ぼうとする意欲をどう育てるかということが大事になります。

「一つ一つ我が子が拾う栗の味の虫喰いも捨てず我が手に持ちたり」という母親が詠んだ歌がある。

せっかちに、これは良い、これはいけないとすぐ決めずに、ゆとりのある子供の育て方をしていかなくてはと思います。

子どもは 地域で育つ

地域の役割を見つめ直して

- 家庭でのかわり
共働きの家庭が増え、家庭の教育力が低下している。特に父親は子供との関わりが少なく家庭での父親の位置が薄らいできている。
- 家庭内での母親の過保護を強く感じる。子供の言いなりに母親はなり、父親は母親の言いなりになっていることが多いのではない。
- 最近の子供は自分本位。親もそのように育てているのではない。子供の自主性を伸ばすことは大切だが、自分本位と自主性は違う。
- 親が何でも手をかけ過ぎて子供を「お客さん」扱いし
- 地域でのかわり
起床、就寝、親子そろった食事など、家庭での基本的な生活習慣をしつかりさせ、親子のコミュニケーションを図ることが必要。
- 子供は親の背だけでなく全身の姿を見ている。自分の家庭を各々見直すこと。

たくましい子供の育成を



長嶋 小嶋 興進 徳永

人間性豊かな児童・生徒の育成を目指す学校教育の充実。家庭・学校・地域の教育の役割りの自覚と分担して機能の向上。学校教育が中核となって教育を進め教育効果を高める。

このことを通して、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供を育て、21世紀を力強く生き抜く、心身共にたくましい子供の育成が今、求められている。

- ・学習塾は自分から進んで通い頑張るのなら子供の負担にならないが、親の願望、不安が先行すると負担になってしまふ。通塾させることが親の逃げ道になってはいけない。
- 地域でのかわり
最近、かし、縄、竹とんぼの作り方の指導を頼まれることが多いが、今の親にできないことを求められている。なぜこのように教えないといけないのか疑問に思うことがある。
- ・子供から手の離れた人でも地域の子供たちを見てほしい。地域ぐるみで子供を育てたい。
- ・親同士のあいさつができていないのではない。子供に言う前に親が隣近所へのあいさつをすることが必要。万引されてもどんな小さなことでも親に知らせしてほしい。店の信用もあろうが、地域ぐるみで子供を育てるには店の協力がほしい。
- ・子供に声をかけあいさつをする際、その子の日常の事を聞くのが望ましい。そのかわり、その子のことをよく知っている隣近所の人でなければできず、これこそが「隣からすすめる健全育成の輪づくり」になる。

社会参加活動

11月17日(日)

親子が一緒に汗を流そう

家庭において日常的に勤労体験する機会が少なくなっています。子供たちの発達段階に応じたさまざまな生活体験は、心豊かな成長にとって必要なことです。

家族の中の一員、地域社会の一員としての役割を担い、自分も「社会の一員」として役立っているという実感を持つことを願っています。

市では、青少年の社会参加を図る目的で、毎年11月第3日曜日に、全市一斉の清掃活動を行っています。

今年、11月17日(日)。親子が一緒になって汗を流しましょう。

平川地区親子クリーン作戦



親子、千人が参加してゴミ袋2百個分が拾い集められました。



△スポーツの秋 本番

澄みきった空気の中、市内のスポーツ施設が開放され市民スポーツデーが行われました。子供からお年寄りまで、みんながさわやかな汗を流しました。

▷庶民の文化を伝えていこう
10月10日、お年寄りと子供が昔ながらのわらべ唄やお遊戯と一緒に楽しむ「老人と子供の唄祭」が開かれました。



△お年寄りと幼稚園児のふれあい

市内各地で、福祉の輪づくり運動が展開される中、10月21日、小鯖幼稚園の園児と地元のお年寄りが小鯖八幡宮まで「がんばり遠足」を楽しみました。おじいちゃんやおばあちゃんたちと、どんぐりを拾ったり、ゲートボールを習ったりして、元気に一日を過ごしました。



△不用な野菜も工夫しだい

10月15日に開催された健康と環境を守る山口市大会で、食生活改善推進員さんが、野菜くずを活用してスープを作り環境保全を呼びかけました。

▷自慢の力作を発表
10月17日、山口ふれあい館で好評の陶芸教室習作展が開かれました。市内の陶芸好きのグループ「つくし会」88人の力作4百80点が展示され、訪れた多くの人たちを魅了しました。



保 育 園

■入園できる乳幼児
乳幼児の保護者、同居の親族のいずれもが仕事を持っていたり、病気などの理由で、乳幼児の保育ができない家庭に限ります。

この場合でも、同居、別居を問わず、他の人で乳幼児の保育ができる場合は除きます。

■保育園・所在地
▽山口(旭通り一丁目)▽東山(東山二丁目)▽大内(高芝)▽陶(丸尾)▽楠木(楠木町)▽三の宮(芝崎町)▽山口第二

■入園できる乳幼児
(三和町)▽嘉川(岡屋)▽嘉川隣保館(免地)▽佐山(小路)▽乳児(大手町)▽湯田(今井町)▽平川(台)

■案内書、申請書の配布
11月25日(月)から、市児童家庭課および各保育園で。

■申請書の受け付け
12月4日(水)～12月6日(金)の午前10時から午後3時まで、市児童家庭課(1階)で。

なお、陶、嘉川、嘉川隣保館、佐山の各保育園は、前記の期間内に各園で申請書の配布、受け付けを行います。

今年入園手続きをし、入園できなかった人も新たに手続きが必要で。

■問い合わせ 市児童家庭課(☎22-4111)へ

市立幼稚園

■入園できる幼児
昭和62年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた4歳児。(5歳児は、定員に満たない人員のみ募集)

■願書受付期間
12月2日(月)～12月6日(金)

■幼稚園募集園児数
▽仁保(40)▽小鯖(40)▽大内(80)

▽宮野(80)▽吉敷(80)▽平川(百20)▽鑄銭司(40)▽名田島(40)▽二島(40)▽二島長浜(休園中)

■入園申し込み
入園を希望される人は、各幼稚園に備え付けの「入園願書」に必要事項を記入し、居住地区の幼稚園に提出してください。

■問い合わせ 市教育委員会学校教育課(☎22-4111)へ

来春の入園児を募集

陶地区文化財教室

- 日時 11月9日(土)午後1時30分～4時
- 場所 陶公民館
- 対象 市民
- 参加料 無料
- 内容 陶地区の遺跡について(スライド)、記念講演「陶、やきもの考」、講師 小田村宏・湯上中学校教諭
- 問い合わせ 市文化財センター(春日町5-1 ☎24-7001)へ

萩焼セミナー

- 日時 12月7日(土)午前10時～午後3時
- 場所 県視聴覚センターレクチャールーム
- 内容 講演 講師 大和保男・陶芸家 映画「萩焼」、実習(大和保男窯まで貸切バスで移動し、制作実習を行います。)
- 対象 一般
- 募集人員 250名(ただし、制作実習希望者は100名まで)
- 参加費 無料(ただし、制作実習者は、実費として1,000円)
- 申し込み 往復はがきに、住所、氏名、電話番号も併記し、11月30日(土)までに、山口県視聴覚センター(後河原松柄150-1 ☎24-2188)へ。実習希望者は、実習希望と記入し、弁当(500円)をあつ旋しますので、希望者は弁当希望と記入してください。

緑化(花と生け垣)教室

- 日時 11月16日(土)午後1時～4時
- 場所 維新百年記念公園内(吉敷木崎)
- 募集人員 50名
- 参加料 無料
- 申し込み 11月8日(金)までに、電話で(財)県公園協会(☎22-2754)へ

山口技能開発センターの講習会

- 刃物の研ぎ方
 - 日時 11月11日～12月2日(毎週月・水・金曜日)午後6時～9時
 - 定員・受講料 10人・2,500円
- パソコン入門
 - 日時 11月16日(土)・17日(日)午前9時～午後4時
 - 定員・受講料 10人・1,000円
- ワープロ応用
 - 日時 11月25日(月)～28日(木)午後6時～9時
 - 定員・受講料 10人・1,000円
- ◎申し込み 電話で山口技能開発センター(矢原1284-1 ☎22-1948)へ

ワープロ教室(土曜日コース)

- 期間 11月16日・30日・12月7日・14日・21日(5日間)午後1時30分～4時30分
- 会場 市働く婦人の家
- 募集定員 10人(多数の場合抽選)
- テキスト代 2,575円
- 申し込み 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、職業の有無を記入し、市働く婦人の家(湯田温泉五丁目1-1 ☎21-1929)へ

催し物のお知らせ

納付額証明書を発行送付

国民健康保険料の納付額証明については、従来の1月にかえ、今年は11月中旬にお届けします。詳しくは市収納課(☎22-4111)へ。なお、国民年金の同証明書は、1月に送ります。

山口ふれあい館の休館

浴室改修のため、12月9日(月)から17日(火)まで、浴室の使用を休みます。なお、陶芸習作教室は利用できます。

岡村喬生の歌と語りで綴る名曲コンサート

- 日時 11月14日(木)午後6時30分開演(開場午後6時)
- 場所 山口南総合センター
- 前売券 全席自由 1,000円(当日券 1,200円)
- プレイガイド 山口地区(山口十字堂楽器店、三好屋レコード店、三好屋楽器店、OK無線A Vセンター、OK無線道場門前店、ちまきや、山口音楽愛好会、市民会館)
- 問い合わせ 山口南総合センター(名田島 ☎32-8333)へ

老齢福祉年金を受けている方へ

11月11日から証書をお返しします。保管証と年金受け取り用の印鑑を持参のうえ、8月に提出された市保険年金課(☎22-4111)または各出張所へおこしください。

※老齢福祉年金とは、明治44年4月1日以前に生まれた方で、保険料をかけたものでない年金です。

国民年金の保険料は納めましたか

国民年金の保険料の納め忘れがないか確認してください。未納のままですと年金が受けられないこともあります。

○65歳になったとき⇒老齢基礎年金
障害者になったとき⇒障害基礎年金、夫に先立たれたとき⇒遺族基礎年金

※あとで、「きちんと納めてよかった」といえるように保険料は忘れずに納めましょう。

県立山口図書館の閉館

県立山口図書館等は秋季資料点検のため、次のとおり閉館となります。

- 県立山口図書館・県点字図書館・県視聴覚センター音楽資料室⇒11月12日(火)～21日(木)
- 県文書館⇒11月12日(火)～18日(月)

児童手当新制度の受け付けは11月から

児童手当は、今まで第2子以降の児童を対象としていましたが、改正により平成4年1月1日より第1子から支給されるようになります。なお、現行制度と同じ所得制限があります。

新たに児童手当の対象となる児童がいる場合は、認定(額改定)請求を受け付けます。窓口は、市保険年金課(1階)と各出張所です。

■認定請求 平成3年1月2日以降に生まれた第1子を養育している方は、印鑑、事業主による年金加入証明書・請求者名義の金融機関口座番号、所得証明書(今年1月1日他市町村に住んでいた人)を持って平成4年1

■額改定請求 現在、児童手当を受給し、平成3年1月2日以降に生まれた第1子を養育している方は、印鑑を持参して12月末までに手続きをしてください。

■問い合わせ 詳しくは、市保険年金課給付係(☎22-4111)へおたずねください。

事項	改正前	改正後
●支給対象	第2子以降義務教育就学前	第1子以降3歳未満
●支給期間	—	—
●支給金額	第1子 月額2,500円 第2子 月額5,000円 第3子以降 月額5,000円	第1子 月額5,000円 第2子 月額5,000円 第3子以降 月額10,000円

編集後記

▽ごみのリサイクルを奨励するつくし推進事業に取り組み川西中では、一学期に1日、部活も返上で全生徒が回収。今では、中学生がいない家庭からも協力があ

り、すっかり地域に根づいている。多くの市民団体が参加しているにもかかわらずごみの量は昨年より増えている。今一度ごみを出さない工夫をお願いしたい。▽「親の夢次々消して子は育つ」青少年研修会での川柳。青少年健全育成は、地域がどれだけ子供に関心をもち、どれだけ教育力を

持てるかが問われる時代。

健康コーナー

1歳6か月児の健康診査

- 期日 11月28日(木)
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 市保健センター
- 対象 平成2年5月生まれの幼児
- 診査内容 医師による内科、歯科の健診、検尿、身体測定、保健指導
- 料金 無料(母子健康手帳を持参)
- ※当日、検尿がありますので、取れる方は、取ってきてください。

嘉川、佐山、名田島、秋穂二島、陶、鋳銭司地区は平成4年1月28日(火)に山口南総合センター(名田島)で行います。

3歳児の健康診査

- 期日・対象地区 〈11月20日(水)〉白石、湯田、吉敷、平川、大蔵、〈27日(水)〉大蔵、仁保、小鯖、大内、宮野
- 受付時間 午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 昭和63年11月生まれの幼児と過去未受診者
- 料金 無料(母子健康手帳と健診票、アンケートを持参)
- ※当日、検尿がありますので取りにくい方は、取ってきてください。

高血圧教室

- 日時 〈第1回〉11月20日(水)〈第2回〉27日(水)〈第3回〉12月4日(水)いずれも午後1時30分～3時30分
- 場所 市保健センター
- 対象者 血圧が高い人、高血圧について学びたい人
- 講師 済生会山口総合病院院長 藤井英雄医師
- 募集人員・受講料 30人・無料
- 申し込み 11月15日(金)までに、市保健センター(糸米二丁目㉓21-2666)へ

母親学級

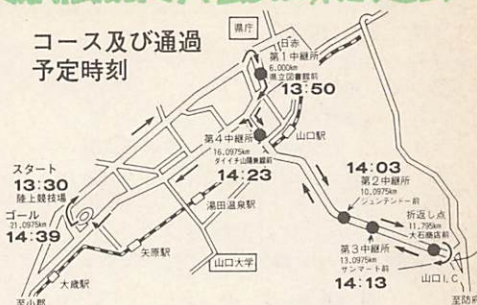
- 日時 11月20日(水)、27日(水)、12月11日(水)、25日(水)午前9時30分～正午(3回目のみ午後1時30分～4時)
- 場所 山口環境保健所
- 料金 無料(母子健康手帳を持参)

第3回山口女子駅伝競走大会
女子第3回全国高校駅伝競走大会山口県予選会

11月10日(日)維新百年記念公園陸上競技場をスタート(午後1時30分)ゴールとする「山口循環ハーフマラソンコース」で開催されます。

昨年と同じく招待チームを含め高校女子チームと白熱したレースが展開されます。

大会当日は、交通規制があり、交通の混雑が予想されますので選手が快く走れるようご協力ください。

コース及び通過
予定時刻

動脈硬化予防教室

- 日時 〈第1回〉12月2日(月)〈第2回〉5日(木)いずれも午後1時30分～3時30分
- 場所 市保健センター
- 対象者 基本健康診査の結果、コレステロールが高い人
- 講師 済生会山口総合病院 光山哲生・内科医師、岡村協子・栄養士 他
- 募集人員・受講料 30人・無料
- 申し込み 11月20日(水)までに、市保健センター(糸米二丁目㉓21-2666)へ

糖尿病予防教室

- 日時 〈第1回〉11月29日(金)〈第2回〉12月6日(金)〈第3回〉12月13日(金)いずれも午後1時30分～3時30分
- 場所 市保健センター
- 対象者 基本健康診査の結果、血糖値が高い人
- 講師 山口赤十字病院 古賀龍彦・内科医師、野崎あけみ・栄養士
- 募集人員・受講料 30人・無料
- 申し込み 11月20日(水)までに、市保健センター(糸米二丁目㉓21-2666)へ

健康教育受講者を募集

- 日時 11月25日(月)午後1時30分～3時30分
- 場所 佐山公民館
- 内容 「健康相談」
- 講師 田村勝博・内科医師
- 受講料 無料
- 申し込み 11月20日(水)までに、市保健センター(㉓21-2666)へ

募集コーナー

文化バス、大分
臼杵石仏を訪ねて

- 日時 11月24日(日)、25日(月)
- 行程 市民会館小ホール前・小郡駅(午前7時30分出発)～別府(昼食)～杵原八幡宮～大分市歴史資料館、豊後国分寺跡～大分市内府内城跡～別府鉄輪温泉(泊)～臼杵石仏～観光センター(昼食)～市民会館小ホール前・小郡駅前(午後6時30分帰着予定)
- 募集人員 120人(満員になり次第締め切り)
- 参加費 大人21,000円、子供・身体障害者20,000円
- 講師 郷土史家・内田伸氏
- 申し込み 11月5日から、市交通局(山口県知事登録国内旅行業第44号/葵二丁目㉓22-2555)へ

山口南総合センターの
乳版年賀状作り教室

- 日時 11月19日(火)・26日(火)・12月3日(火)・7日(土)午後6時30分～9時(7日は午前10時～午後4時)
- 場所 山口南総合センター
- 募集人員 40名
- 受講料 1,800円
- 講師 金子和友氏
- 持参品 毛筆(中・小筆)、定規、カッター、下敷(B4)、4B鉛筆
- 申し込み 11月11日(月)までに山口南総合センター(大字名田島12-18)㉓32-8333または㉓08397-2-8333)へ

11月の休日当番医	外科系	内科系	外科系	内科系
3	山口病院 山口㉓1191	香川内科 山口㉓1700	同仁病院 宇部㉓652130	池田医院 小郡㉓21002
4	池畑整形外科 山口㉓7766	おごし医院 山口㉓9777	三隅外科 小郡㉓21003	林病院 小郡㉓20411
10	丘病院 山口㉓1100	原田内科胃腸科 山口㉓2344	相川医院 山口㉓62177	岡医院 小郡㉓34477
17	淵上整形外科 山口㉓6644	あんの循環器内科 山口㉓1151	吉武医院 秋穂 2330	田中内科 小郡㉓2325
23	佐々木外科病院 山口㉓3811	赤川医院 山口㉓0299	林病院 小郡㉓20411	河端内科 小郡㉓3820
24	林外科 山口㉓0139	城島小児科 山口㉓3235	共立病院 宇部㉓652200	岡村医院 小郡㉓32053
診療時間: 午前8時30分～午後5時30分		診療時間: 午前9時～午後6時		

■休日夜間急病診療所(外科・内科・小児科) 土曜・日曜・祝日の午後7時～11時 ■休日在宅当番医テレホンサービス㉓23-5000
(糸米二丁目6-6 ㉓25-2266) (歯科) 日曜・祝日の午前9時～午後3時

吉 南 医 師 会 土曜夜間在宅当番医 診療時間19時～22時	11 月 2 日		11 月 9 日		11 月 16 日		11 月 30 日	
	内科系	藤 井 医 院 山口㉓72002	小 野 医 院 秋穂 2353	林 病 院 小郡㉓20411	池 田 病 院 小郡㉓21002			
	外科系	同 仁 病 院 宇部㉓652130	小 川 整 形 外 科 小郡㉓2887	相 川 医 院 山口㉓62177	共 立 病 院 宇部㉓652200			

■平日夜間の在宅当番医の問い合わせは㉓22-1470(消防本部)へ